



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
1/20 (月)	+ 1,500	+ 1,000	+ 2,500	国庫短期証券発行償還 (3M)	共通担保 ▲ 1,200 社債等買入 ▲ 200 国債補充供給 + 7,500		米：大統領就任式
1/21 (火)	+ 2,000	+ 2,000	+ 4,000				
1/22 (水)	+ 2,000	▲ 8,000	▲ 6,000	国債発行 (40年)	共通担保 ▲ 8,000		
1/23 (木)	+ 1,000	▲ 6,000	▲ 5,000				日：日銀金融政策決定会合 (1日目) 貿易収支 (12月)
1/24 (金)	+ 1,000	▲ 9,000	▲ 8,000	流動性供給			日：日銀金融政策決定会合 (2日目) 展望レポートの公表 CPI (12月) 米：PMI (1月) 欧：ユーロ圏PMI (1月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比2兆9,000億円減少の521兆1,400億円から始まった。その後、共通担保オペのエンドや税揚げ、国債発行等の要因により減少し、17日は518兆6,100億円 (速報) で越えた。

無担保コールON物加重平均金利は週初、0.227%から始まった。その後もビッドサイドの調達意欲は底堅く、同金利は横ばいで推移した。

ターム物は1W~3W物0.231%~0.500%のレンジ、1M~3M物0.485%~0.610%のレンジで出が見られた。

来週の予定は、国内では、23・24日に日銀金融政策決定会合の開催、24日にCPI (1月) が公表される。海外では20日にトランプ氏が大統領に就任、24日に米国PMI (1月) の公表などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.220 ~ 0.228
1M	0.35 ~ 0.55
2M	0.45 ~ 0.60
3M	0.50 ~ 0.65
6M	0.55 ~ 0.65

<レポ>

足許GC取引は週初+0.24%~+0.25%のレンジで出合い。輪番オペがあった15日にも水準に変化は見られなかった。16日は+0.24%付近から出合い始めたが、引けには+0.23%近辺での出合いもあった。3m短国が発行された週末は+0.24%~+0.25%のレンジで取引された。

SC取引は2年460~468回債、5年155~174回債、10年355~370回債、20年110~130回債などに引合いが見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.20近辺
CP 3M	0.40 ~ 0.50

<CP>

今週の入札発行総額は約8,000億円で、週間償還額の9,800億円を下回った。発行残高は先週末時点の26兆702億円から、1月16日時点で25兆9,594億円に減少した。発行市場は、機械、石油製品、鉄鋼、鉱業、卸売業などで大型の発行案件が見られた。入札案件の発行レートは銘柄や期間等によりばらつきが見られ、1M物から3M物で、0.30%台後半から0.50%台前半の出合いとなった。

来週の償還額は、1兆7,500億円となっている。発行市場は、5・10日発行が予定されるため、相応の発行が見込まれる。発行レートは、1月会合での金融政策変更を警戒し、1M物は0.40%台後半から、3M物は0.50%台とレートの上昇余地を探る展開になるだろう。

<TDB>

16日の1Y (1281回債) の入札は、最高落札利回り0.5601% (前回債0.4857%)、平均落札利回り0.5429% (前回債0.4796%) となった。

17日の3M (1282回債) の入札は、最高落札利回り0.3653% (前回債0.2516%)、平均落札利回り0.3544% (前回債0.2402%) となった。

来週の入札は23日に3Mが予定されている。